

日本アジア投資株式会社 2019年3月期 第2四半期 決算補足資料

決算発表日:2018年11月12日

(ご注意)本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準、または、従来連結基準)にて表示しております。



1.	総括	P3

- 2. 2019年3月期第2四半期の実績(従来連結基準) P4
- 3. 2019年3月期の通期業績見込(従来連結基準) P9
- 4. 営業活動の状況 P11
- 5. 参考情報 P24





✓2019年3月期第2四半期累計実績(従来連結基準)

- · 前年同期比71.9% 減収、最終赤字5億円
- ・ 前年同期の大型プロジェクト売却の反動で減収
- ・ 海外投資先の回収見込額低下に伴い、評価損・引当が増加

✓ 2019年3月期 通期業績見込(従来連結基準)

- ・ 2Q実績は巡航速度、期初見込の変更なし
- · 売却益は4Q集中、国内IPOと海外未上場株売却益が柱

✓営業活動の成果

- · 10/30 VALUENEX上場
- ・ 10/31 事業承継型バイアウトファンド: 総額30億円達成
- · 4月から10月までの売電開始プロジェクト:5件、12.5MW

2.2019年3月期 第2四半期の実績(従来連結基準)



M	<i>/</i>	111	1-	
至	$\mathbf{x} =$	不仁	Ai i Ċ	3
ᆍ	績	7 77	ΉΕ	3
/ \	リス	<i>></i>		=

ハイライト P5

営業収益•営業原価内訳 P8

2. 2019年3月期 第2四半期の実績-ハイライト P/L(従来連結基準)



	2018/3期 2Q 実績		2019/3期 2Q 実績			通期業績見込値	
	金額(百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減率	金額(百万円)	進捗率
営業収益	2,547	100.0%	716	100.0%	△71.9%	3,450	20.8%
営業原価	1,227	48.2%	638	89.1%	△48.0%	1,650	38.7%
営業総利益	1,319	51.8%	78	10.9%	△94.1%	1,800	4.4%
販管費	605	23.8%	543	75.8%	△10.2%	1,100	49.4%
営業利益	714	28.0%	△465	△64.9%	_	700	_
経常利益	640	25.1%	△460	△64.3%	_	550	_
親会社株主に帰属する当期純利益	493	19.4%	△534	△74.6%	_	470	_
営業収益のうち、安定収益(※)	227	-	228	-	_	330	69.2%
販管費に占める安定収益(※)の割合	37.5%	_	42.0%	_	_	30.0%	_

✓ 前年同期比:71.9%減収、最終赤字5億円、前年同期に大型案件 含む4件、36.0MWのプロジェクトを売却した反動減

✓ 通期見込比:営業収益進捗20.8%・最終利益△10億円は巡航速度 第4四半期の株式売却益で見込を達成する計画

✓ 安定収益:建設中案件の費用を売電収益で補い前期並みを維持

(※)安定収益:管理報酬、プロジェクト投資による持分損益のうち売却益・補助金収入以外の収益、プライベートエクイティ投資の利息・配当収入の合計額。

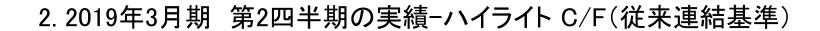
2. 2019年3月期 第2四半期の実績-ハイライト B/S (従来連結基準)



	2018/3期末実績		2019	/3期 2Q	実績
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	増減率
総資産	19,220	100.0%	16,941	100.0%	△ 11.9%
うち 現預金	7,308	38.0%	4,885	28.8%	△33.2%
うち 営業投資有価証券 (プロジェクト投資)	3,582	18.6%	4,672	27.6%	30.4%
うち 営業投資有価証券 (プライベートエイクイティ 引当後)	6,030	31.4%	5,447	32.2%	△9.7%

借入金	11,954	62.2%	10,288	60.7%	△13.9%
自己資本	6,545	34.1%	5,986	35.3%	△8.5%
現預金+プロジェクト投資△借入金	Δ1,063	-	△730	_	_

- ✓ プロジェクト投資は、新規実行の進捗により残高が増加
- ✓ 借入金残高102億円、ピーク時残高(社債含む)から78%削減
- ✓ 現預金・プロジェクト投資の合計額と借入金残高のバランスは、 前期末△10億円から9月末△7億円へと改善





(単位:百万円)	18/3
営業活動によるCF	1,870
投資活動によるCF	238
財務活動によるCF	△2,173
CF増減額	△57
期末残高	4,757

18/3(2Q)	19/3(2Q)
△519	458
196	65
△1,659	Δ1,668
△1,989	Δ1,158
2,825	3,599

✓ 営業CF: 損失計上の一方、ファンドの分配金や還付税金の受領

により約4.6億円の収入

✓ 財務CF: 借入金の返済により約16.7億円の支出

2.2019年3月期 第2四半期の実績-営業収益・営業原価内訳 (従来連結基準)



	合	計	プライベート	エクイティ投資	プロジェ	:クト投資
(単位:百万円)	2018/3期 2Q 実績	2019/3期 2Q 実績	2018/3期 2Q 実績	2019/3期 2Q 実績	2018/3期 2Q 実績	2019/3期 2Q 実績
営業収益	2,547	716	424	582	2,123	133
管理運営報酬等	134	129	133	128	1	0
成功報酬	50	_	50	_	_	_
営業投資有価証券売却高	1,053	196	223	172	830	23
組合持分利益等	1,261	357	0	261	1,260	95
利息•配当収入	31	9	11	9	20	0
その他営業収益	14	22	4	9	10	13
営業原価	1,227	638	408	621	819	16
営業投資有価証券売却原価	894	205	75	188	818	16
営業投資有価証券評価損· 投資損失引当金繰入額	317	420	317	420	_	_
組合持分損失等	13	8	12	8	0	_
その他営業原価	2	3	2	3	_	_
営業総利益	1,319	78	15	△39	1,303	117

- ✓ プライベートエクイティ投資:他社運営ファンドの持分利益が発生した一方評価損が増加し、営業総損失
- ✓ プロジェクト投資:前年同期のプロジェクトの売却や補助金収入の反動で、組合持分利益が減少

3. 2019年3月期の業績見込値(従来連結基準)



業績見込値

P10

3. 2019年3月期の業績見込値(従来連結基準)



	2019/3期		
従来連結基準	期初見込	2019/3(2Q)実績
	金額	 金額	
	^{並領} (百万円)	並領 (百万円)	進捗率
営業収益	3,450	716	20.8%
うち ファント 報酬	240	129	53.9%
うち 売却高(プライベートエクイティ(PE))	2,800	172	6.2%
うち売却高(プロジェクト)	_	23	-
うち 組合持分利益等(PE)	_	261	-
うち 組合持分利益等(プロジェクト)	400	95	24.0%
うち その他	10	32	329.2%
営業原価	1,650	638	38.7%
うち 売却原価(PE)	1,300	192	14.8%
うち 売却原価(プロジェクト)	-	13	_
うち 評価損・引当	350	420	120.2%
うち その他	_	12	_
営業総利益	1,800	78	4.4%
販管費	1,100	543	49.4%
営業利益	700	△465	
経常利益	550	△460	_
親会社に帰属する当期純利益	470	△534	-

実績の差異と今後の見込み

- ・プライベートエクイティの売却高・売却原価は、主に、国内の新規上場株と海外の未上場株式の売却により構成する見込み。第4四半期に集中して発生見込み。
- 評価損は期初予算を超過
- ・営業収益のうち組合持分利益等に、期初見込んでいなかった他社の運営するプライベートエクイティファンドの持分利益が発生。 評価損の見込み超過分を補う。
- ・組合持分利益等には、今後、再生可能エネルギープロジェクトの売却と下半期の売電収益等の合計を見込む

- ✓ 期初見込みに変更なし、第2四半期までの実績は巡航速度
- ✓ 第4四半期に集中して、株式売却益計上の見込み

業績見込値は現時点で当社が一定の前提条件に基づいて算定したものであり、その達成を保証するものではありません。 様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

4. 営業活動の状況



営業活動の状況

プライベートエクイティ投資 P12

プロジェクト投資 P17

4. 営業活動の状況



-プライベートエクイティ投資 ファンド募集(2018年10月末時点)

事業承継ファンド総額30億円達成

~国内中小企業の事業承継問題解決と地域創生を目指す~

ファンド名	サクセッション1号投資事業有限責任組合
運用者	AJキャピタル株式会社 (当社・あおぞら銀行が50%ずつ出資の合弁会社)
出資者	AJキャピタル、あおぞら銀行、愛媛銀行、FPG きらやか銀行、東和銀行、鳥取銀行、富山銀行 北都銀行、宮崎太陽銀行、ゆうちょ銀行、その他 当社
ファンド総額	30億円(2018年10月末時点)
投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業
設立日	2017年6月26日

4. 営業活動の状況 -プライベートエクイティ投資 ファンド募集



企画中ファンド 2ファンド

テーマ	日本各地の中小企業のグローバル化支援 (海外へのビジネス展開支援、及び、 インバウンド需要取り込みによる成長支援)
想定出資者	地域金融機関
設立予定時期	2019年3月以降

テーマ	中国市場での成長が期待される日本のハイテク 企業の支援
想定出資者	中国の機関投資家
設立予定時期	2019年3月以降



VALUENEX株式会社

2018年10月30日 東証マザーズ上場

~世界に氾濫する情報から"知"を創造していく企業~



事業内容:

特許・文書解析ツール「TechRadar」、「DocRadar」のASPライセンスサービス及びこれを用いたコンサルティングサービスの提供

初値換算の時価総額:118億円

4. 営業活動の状況 -プライベートエクイティ投資 実行額(2018年9月末時点 JAIC)

投資実行額合計 2社、1億円

JAIC企業育成ファンド

(ベンチャー企業向けセカンダリーファンド)



株式会社リグア

接骨院・整骨院向け各種ソリューション 提供でトップクラスシェア

- システム導入による患者情報の管理強化、EMS等の 施術機器を用いた自費メニュー導入、人材教育支援、 会計サポートなどをトータルに提供
- 資本金(資本準備金を含む)2.8億円、従業員数81名



患者情報管理システム「LigooPOS&CRM」



電気施術機器「EMS-indepth-」

瀋陽ファンド

(中国瀋陽市の成長企業向けファンド)

☑ 中元宜和

瀋陽中元宜和 生物科技有限公司

医療機関向けの人工授精用医療機器の 開発・生産を行うスタートアップ企業

- 卵細胞収集器、胚移植導管、人工授精管について、 国家食品医薬監督管理局(CFDA)より中国国内にお ける生産・販売承認を取得
- 2011年4月設立、資本金6.7百万元



卵細胞収集器



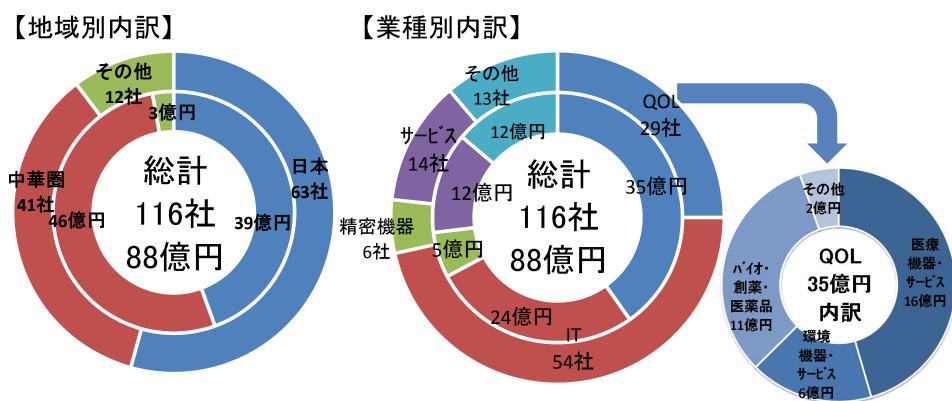




胚移植導管

4. 営業活動の状況 -プライベートエクイティ投資 残高(2018年9月末時点) **JAIC**

投資残高合計 116社、88億円



1社当たり平均投資金額:

日本 62百万円、中華圏 113百万円/QOL 122百万円、IT 44百万円

4. 営業活動の状況 -プロジェクト投資 投資実行(2018年9月末時点)

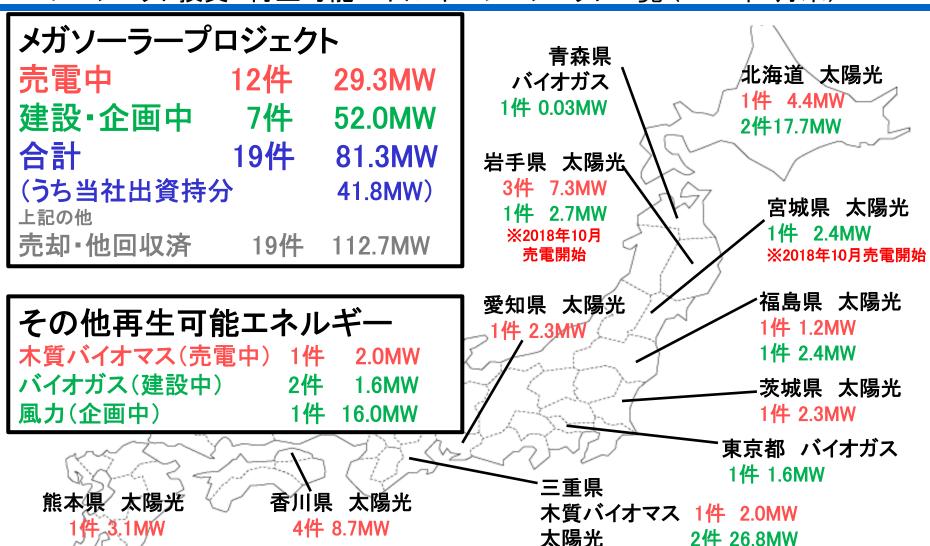


投資実行額合計 5件、13.5億円

所在場所	電源種類	発電容量	特徴
三重県	風力	16.0MW	既存案件への 追加投資
北海道	太陽光	2.0MW	新規案件
岐阜県	太陽光	20.0MW	新規案件 (短期回収予定)
青森県	バイオガス	0.03MW	新規案件
岩手県	太陽光	2.7MW	既存案件への 追加投資

4. 営業活動の状況

-プロジェクト投資 再生可能エネルギープロジェクト一覧(2018年9月末) ✓ JAIC



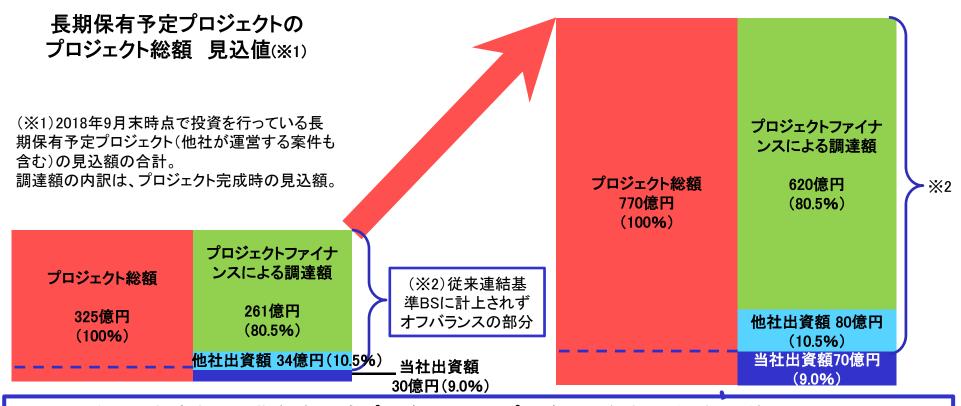
[※] 各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に 連動しておりません。

風力

1件 16.0MW

4. 営業活動の状況 -プロジェクト投資 -プロジェクト総額





- ✓ 2018年9月末時点の長期保有予定プロジェクトの、プロジェクト総額は合計325億円の見込み
- ✓ 従来連結基準では、プロジェクト総額のうち「当社出資額」30億円(9.0%)以外は、オフバランス(※2)
- ✓ 当社中期経営計画では、2021年3月末までに当社出資額を70億円まで積上げることを目指す。 仮に、今後投資するプロジェクトにおいても、既存の長期保有予定プロジェクトと同じ割合で資金調 達を行うと仮定した場合、当社出資額70億円に対応するプロジェクト総額は770億円に拡大する。

(注)中期経営計画とは2019年3月期から2021年3月期の中期経営計画です。なお、当該中期経営計画および本資料の記載事項はその策定時点で当社が一定の前提条件に基づいて算定したものであり、その達成を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

4. 営業活動の状況 -プロジェクト投資 -累計収入見込み額の試算



2018年9月末長期保有目的プロジェクトの 売電による累計収入見込み額の試算

これらのプロジェクトを 保有し続けた場合に、 一定の仮定のもとに試算すると 20年間 累計収入 見込み額

100億円

売電開始からFIT期間 終了まで(約20年間) の売電に基づく累計の 収入見込額(※)

当社投資額

30億円

全プロジェクト 完成時点の 見込額

4. 営業活動の状況



プロジェクト投資 -再生可能エネルギープロジェクト売電開始事例 1

香川県さぬき市中王田池・東王田池 水上発電所



中王田(なかおうだ)池ソーラー発電所

売電開始:2018年4月

最大出力:約2.4MW

(※太陽電池パネル設置容量ベース)

固定買取価格 :36円/kWh(稅別)



東王田(ひがしおうだ)池ソーラー発電所

売電開始:2018年7月

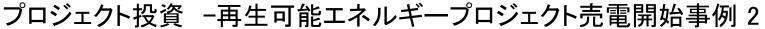
最大出力:約2.4MW

(※太陽電池パネル設置容量ベース)

固定買取価格:36円/kWh(稅別)

- ▶ 水上に建設することで、パネル設置面を平坦にするための、造成工事のコストが不要
- ▶ 周辺に遮蔽物が無いため日照条件が良好
- ▶ 水面の冷却作用でパネルの温度を低く保ち、発電効率を維持。

4. 営業活動の状況





メガソーラーシェアリング発電所



一関市吉高太陽光発電所の様子

一関市吉高太陽光発電所 2018年6月 売電開始

最大出力:約2.6MW(太陽電池パネル設置容量ベース)

一関市鈴ヶ沢太陽光発電所 2018年10月 売電開始

最大出力:約2.7MW (太陽電池パネル設置容量ベース)

- ▶当社、リニューアブル・ジャパン(株)、東急不動産(株)の共同出資プロジェクト
- ▶㈱東北銀行からプロジェクトファイナンスにより調達、三菱電機システムサービス㈱による施工
- ▶太陽光を農業と発電で「シェア」する「ソーラーシェアリング」
- ▶農地に支柱を立て一定の間隔を空けてパネルを設置、その下で大型農機で大麦を栽培
- ▶一般に、農地は平坦なため造成が殆ど不要、日照条件も良く、太陽光発電の適地
- ▶発電事業収入の一部を20年間に亘り営農支援費用として支払い、地域創生に貢献



2018年10月 野菜工場第1号案件へ投資 ~試験的な取り組みを開始~



建設予定地	兵庫県
敷地面積	約820㎡
工場タイプ	完全閉鎖型
栽培品目(予定)	フリルレタス等
建設開始	2018年10月
本稼働予定時期	2019年4月以降

(注)画像はイメージです。

- ▶ 野菜工場の建設・運営に実績のあるベンチャー企業と協業
- ▶ 運営はベンチャー企業が担当し、当社は、建設・運営資金の一部を出資

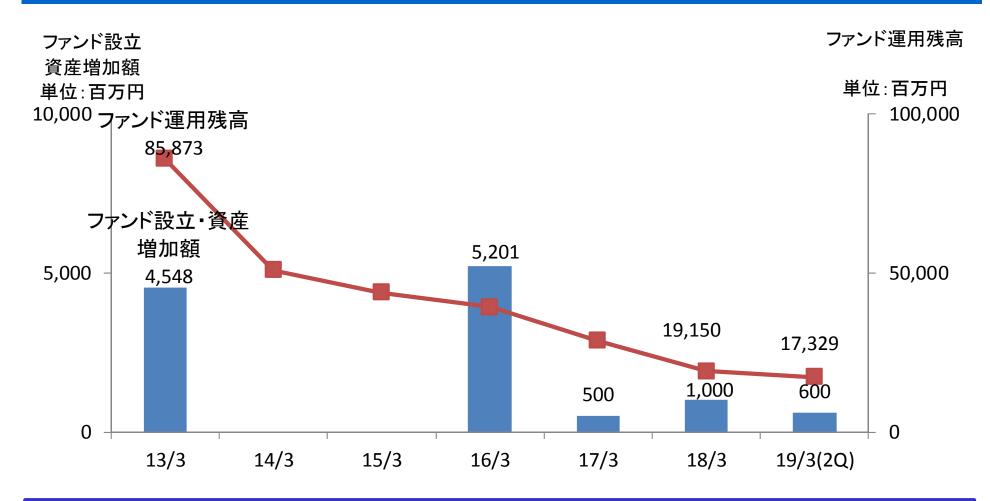
5. 参考情報



ファンド運用残高	P25
ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係	P26
主要データの推移	P27
営業収益・営業総利益 内訳(従来連結基準)	P29
投資損益 内訳(従来連結基準)	P30
プライベートエクイティ 投資先の事業進捗事例	P31
再生可能エネルギープロジェクト 投資案件一覧	P32
JAICの強み	P33
収益構造	P34
会社概要	P36

ファンド運用残高

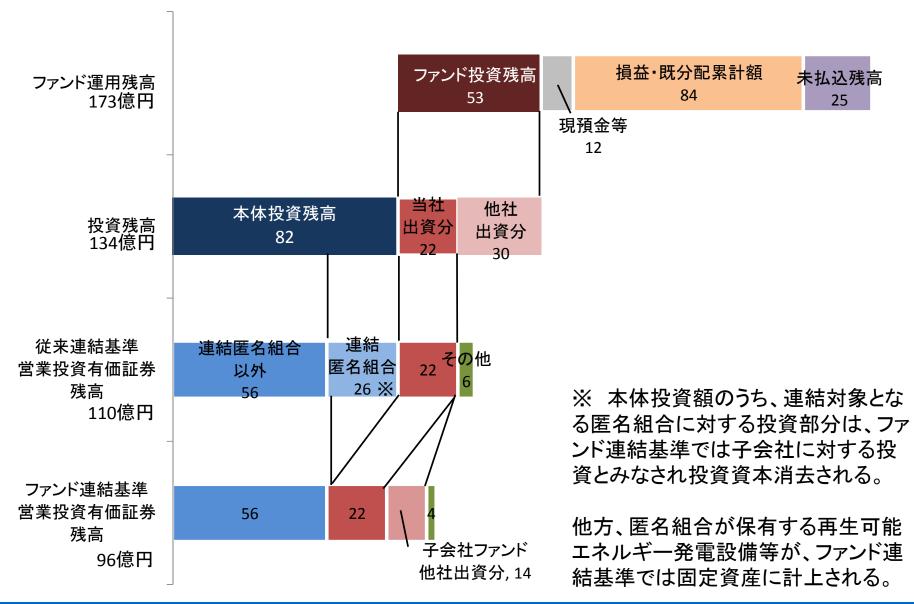




- ✓ 9月末までの事業承継型バイアウトファンド追加出資受入額は6億円 (10月に14億円の追加出資を受け入れ、ファンド総額30億円を達成)
- ✓ 運用を他者に引き継いだファンドや減額したファンドの影響を受け運用残高は減少

ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係





主要データの推移 ①



・ファンドの状況、投資の状況

(単位:百万円)	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3(2Q)
ファンド設立・資産増加額	4,548	_	-	5,201	500	1,000	600
ファンド運用残高	85,873	50,888	43,897	39,335	28,753	19,150	17,329
うち 当社グループ出資額					9,427	5,867	5,584
投資実行額	4,746	4,189	2,728	4,093	4,315	3,887	1,459
投資残高	33,886	25,862	19,722	18,783	16,558	13,981	13,485

主要データの推移②



•業績、財務状況 (従来連結基準)

(単位:百万円)	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3(2Q)
業績							
営業収益	3,784	6,155	4,532	4,043	3,926	5,403	716
営業総利益	176	2,474	882	1,554	2,176	2,328	78
販売費及び一般管理費	2,000	1,621	1,433	1,472	1,339	1,311	543
営業利益	△1,823	852	△550	82	836	1,017	△465
経常利益	△2,612	374	△610	612	726	954	△460
親会社株主に帰属する当期純利益	△2,575	462	△850	597	553	874	△534
財務状況							
現預金	8,550	10,428	9,437	8,202	6,213	7,308	4,885
営業投資有価証券(プロジェクト投資)	_	608	1,337	3,722	4,081	3,582	4,672
引当後 営業投資有価証券(プライベートエイクイティ)	15,452	12,380	10,364	8,226	7,356	6,030	5,447
借入金·社債·予約権付社債	25,433	24,010	20,193	16,910	14,128	11,954	10,288
自己資本	1,565	2,573	3,373	4,976	5,686	6,545	5,986
総資産	28,272	27,302	24,396	22,680	20,305	19,220	16,941

営業収益・営業原価 内訳 (従来連結基準)



(単	4位:百万円)	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3
1.	投資事業組合等管理業務						
	管理運営報酬等	815	733	571	441	364	277
	成功報酬	37	132	63	288	101	86
	営業収益	852	865	634	729	466	364
	営業原価	_	_	_	_	_	_
	営業総利益	852	865	634	729	466	364
2.	投資業務						
	営業投資有価証券売却高	2,411	4,656	3,651	2,954	2,275	3,219
	組合持分利益等	194	357	100	295	1,128	1,612
	利息•配当収入	95	121	93	49	30	64
	営業収益	2,701	5,134	3,844	3,300	3,434	4,897
	営業投資有価証券売却原価	1,385	2,133	1,767	1,863	1,423	2,469
	<i>営業投資有価証券評価損•</i> 投資損失引当金繰入額	2,038	1,480	1,704	569	274	562
	組合持分損失等	158	52	168	47	46	36
	営業原価	3,582	3,666	3,640	2,481	1,744	3,069
	営業総利益	△880	1,468	203	818	1,690	1,827
3.	その他						
	営業収益	229	154	53	13	25	142
	営業原価	25	15	9	7	6	5
	営業総利益	204	139	44	5	19	136

18/3(2Q)	19/3(2Q)	増減率(%)
134	129	△4.0%
50	_	_
185	129	△30.3%
_	_	_
185	129	△30.3%
1,053	196	△81.4%
1,261	357	△71.6%
31	9	△68.6%
2,346	563	△76.0%
894	205	△77.1%
317	420	32.7%
13	8	△37.2%
1,225	634	△48.2%
1,121	Δ70	-
	·	
14	22	57.6%
2	3	28.7%
11	19	64.5%

合計						
連結営業収益	3,784	6,155	4,532	4,043	3,926	5,403
連結営業原価	3,607	3,681	3,650	2,488	1,750	3,074
連結営業総利益	176	2,474	882	1,554	2,176	2,328

2,547	716	△71.9%
1,227	638	△48.0%
1,319	78	△94.1%

投資損益 内訳 (従来連結基準)



<u> </u>				
2018/3 (2Q)	合計	国内 上場	国内 未上場	海外 未上場
(A)売却高	1,053	149	870	34
(B)売却原価	894	51	826	16
(A-B)実現キャピタルゲイン	159	97	44	17
(C)評価損·引当繰入額	317	_	276	40
(A-B-C)投資損益	△157	97	△232	△22

2019/3 (2Q)	合計	国内 上場	国内 未上場	海外 未上場
(A)売却高	196	19	88	89
(B)売却原価	205	9	71	124
(A-B)実現キャピタルゲイン	△8	9	16	△35
(C)評価損·引当繰入額	420	_	24	395
(A-B-C)投資損益	△429	9	∆8	△431

- ✓ 国内上場株の売却減少⇒売却高・実現キャピタルゲインが減少
- ✓ 国内未上場⇒前年同期プロジェクト投資の持分譲渡発生により 売却高、売却原価が共に多額、当2Qは株式売却のみのため減少
- √ 海外未上場株の売却見込額低下⇒評価損・引当繰入額が増加

プライベートエクイティ 投資先の事業進捗事例







株式会社ティムス

急性期脳梗塞患者向け治療薬の開発

- 発症から治療までの制限時間を既存薬の4-5時間から12時間まで伸ばすことを目指す
- 2018年6月、アメリカの大手バイオ医薬品企業バイオ ジェン社とティムスとの間で、オプション契約を締結
- ティムスは、この契約により、一時金約4億円を獲得
- 今後バイオジェンがオプションを行使した場合には、 ティムスに対して約18億円が支払われる
- また、開発状況や販売状況に応じて最大約335億円 の一時金や売り上げに応じた段階的なロイヤリティを ティムスが受領することができる
- 2005年2月設立、資本金99百万円

mtes Neural Networks 株式会社

LoRaを活用したIoTプラットフォーム

- 少電力で広域をカバーする無線通信方式「LoRa(ローラ)」を活用したIoTプラットフォーム事業、 エネルギー/ヒューマン/構造物を対象としたヘルスモニタリング事業
- 2018年6月、トッパン・フォームズ株式会社からの第三者 割当増資が決定、増資後は同社の関連会社となる
- 調達資金は、IoTプラットフォーム構築やAIロボットセンサー開発、AI専門人材の雇用などに充当する計画
- トッパン・フォームズ株式会社とは2017年10月に資本提携、今回の増資でさらに関係を深化し役員1名を受入れ
- 2015年3月設立、資本金715百万円

再生可能エネルギープロジェクト 投資案件一覧(2018年9月末)



電源種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)	プロジェクト総額
太陽光	1	熊本県球磨郡錦町	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40	約10.5億円
	2	愛知常滑Aソーラーパーク	2.3	売電中 (2016年8月売電開始)	36	約7.8億円
	3	一関市藤沢町太陽光発電所	2.3	売電中 (2016年9月売電開始)	36	約7.3億円
	4	ソーラーパークつくばみらい発電所	2.3	売電中 (2017年3月売電開始)	36	約8.5億円
	5	野間池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36	約8億円
	6	福島猪苗代太陽光発電所	1.2	売電中 (2017年9月売電開始)	36	約3.4億円
	7	御田神辺池ソーラー発電所	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32	約5億円
	8	岩手一関ソーラーパーク	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36	約8億円
	9	帯広ソーラーパーク	4.4	売電中 (2018年3月売電開始)	40	約22億円
	10	中王田池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36	約8.6億円
	11	一関市吉高太陽光発電所	2.6	売電中 (2018年6月売電開始)	36	_
	12	東王田池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36	約8.6億円
	13	一関市鈴ヶ沢太陽光発電所	2.7	建設·企画中 (※2018年10月売電開始)	36	_
	14	宮城県	2.4	建設・企画中(※2018年10月売電開始)	36	_
	15	三重県	2.4	建設·企画中	32	_
	16	紋別市弘道太陽光発電所	15.7	建設·企画中	40	約66億円
	17	北海道	2.0	建設·企画中	36	-
	18	三重県	24.4	建設·企画中	24	_
	19	福島県	2.4	建設·企画中	32	_
				合計81.3MW (うち当社出資持分 41.8MW)		
太陽光		岐阜県	20.0	建設・企画中(短期回収予定)	40	_
木質バイオマス		三重県松阪市	2.0	売電中(2018年1月売電開始)	_	_
バイオガス	1	東京都羽村市	1.6	建設·企画中	39	_
	2	青森県	0.03	建設·企画中	39	_
風力		三重県	16.0	建設·企画中	22	_

日本アジア投資株式会社 2019年3月期 第2四半期決算補足資料(2018年11月12日 発表)

JAICの強み



投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握しています。

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立 されて以来、35年に亘り日本とアジ アの経済交流に貢献し、アジアでの 高い知名度を有しています。

最先端の 業界情報収集力 JAIC

ファイナンス スキーム構築力

ベンチャー企業との ネットワーク

国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築しています。

そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用します。

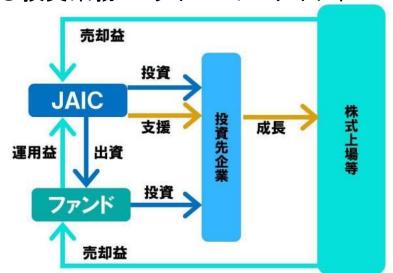
国内外で3,300億円の累計投資実績を有しています。

プロジェクト投資事業では、当社から の投資資金だけでなく、プロジェクト ファイナンスなどの融資資金も交えた 調達スキームを構築しています。

収益構造 - 投資業務



●投資業務:プライベートエクイティ

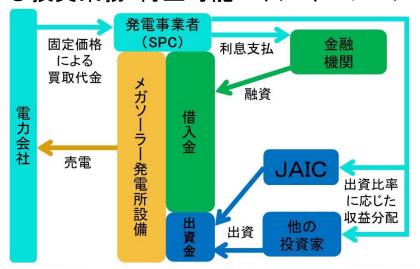


投資資金は、

- JAIC自身の手元資金からの拠出
- ・ファンドを通じて国内外のファンド出資 者から運用を委託された資金 の2通りがあります

ファンドには、JAIC自身も一部出資し、 出資比率に応じた運用益を獲得します。

●投資業務:再生可能エネルギープロジェクト



発電事業者は、発電所建設資金を、

- ・JAIC、他の投資家の出資金
- ・金融機関からの借入金 の2通りで調達し、発電所を保有します。

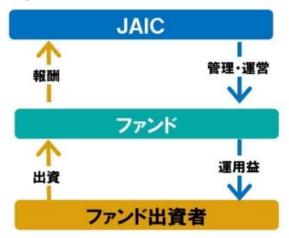
発電した電力は、固定価格で電力会社に 買い取られます

JAIC等の投資家は、出資比率に応じて、 売電を源泉とした安定収益を獲得します

収益構造 - ファンド管理業務



●投資事業組合等(ファンド)の管理業務



ファンドの管理業務では、

- ・経常的な管理・運営に対して受領する 管理報酬
- ・ファンドのパフォーマンスに応じて受領 する成功報酬 の2種類の報酬があります

会社概要(2018年9月末現在)



商号 日本アジア投資株式会社 (略称)JAIC

本社所在地 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地

設立年月日 1981年7月10日

資本金 5,426百万円

株式上場市場 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:8518)

従業員数 単体24名/連結41名

事業領域 ・プライベートエクイティ投資

プロジェクト投資

役員 取締役会長(社外) 川俣 喜昭 : 取締役会議長

代表取締役社長 下村 哲朗

取締役 大森 和徳 : 監査等委員長

取締役(独立社外) 安川 均 : 監査等委員

取締役(独立社外) 沼波 正 : 監査等委員



JAIC

日本アジア投資株式会社

〒101-8570 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 精興竹橋共同ビル 代表 Tel(03)3259-8518 Fax(03)3259-8511

http://www.jaic-vc.co.jp

IRに関するお問合せ先:

執行役員 岸本

管理グループ 丸山

IRに関するお問合せアドレス:ir@jaic-vc.co.jp

(ご注意)本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準・従来連結基準、ともにそれぞれ記載)にて表示しております。